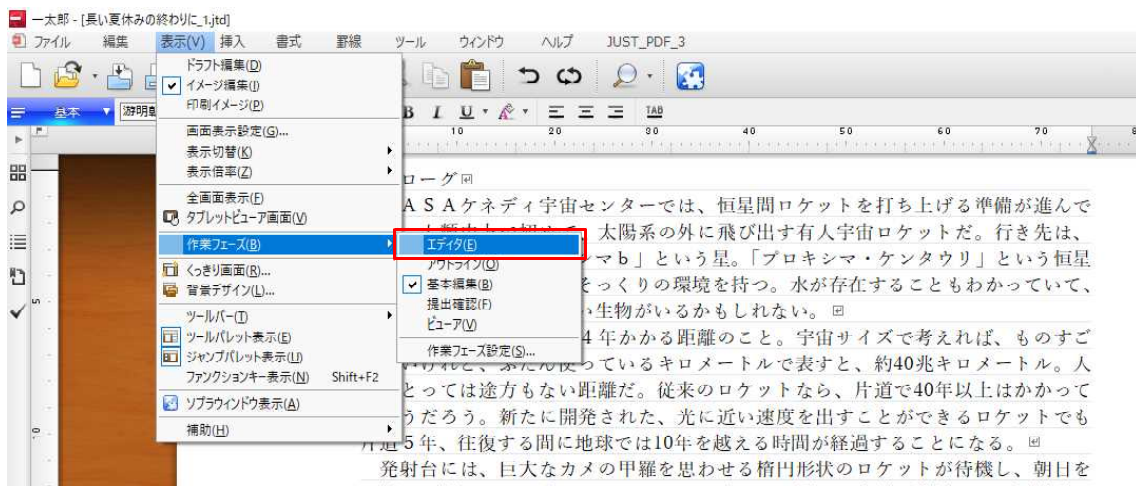


## 【一太郎 2018 編】

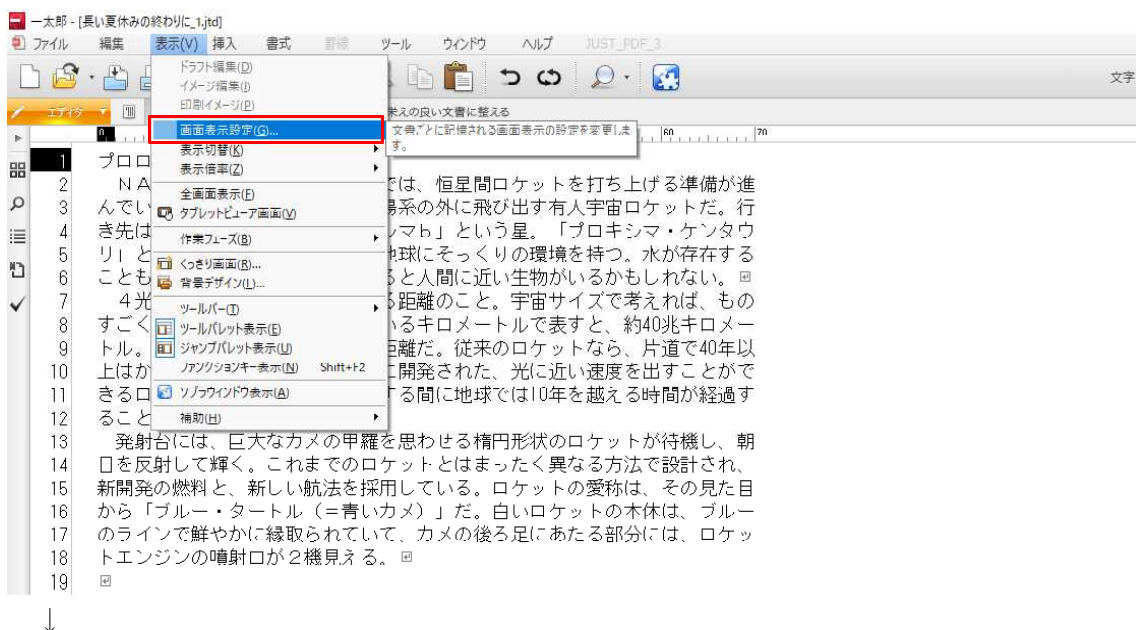
### エディタフェーズの行間を広くして見やすくするマル秘テク

アイデア段階のメモや原稿の草案など、プレーンなテキスト文書を入力したいときは、文字飾りなどを表示しないエディタフェーズでの作業が適しています。ただし、基本編集画面に慣れていると、行間が詰まって見づらく感じることもあります。一太郎 2018 では、行間の広さが通常の「ふつう」のほか、「やや広め」「広め」を加えた3段階から選べるようになりました。好みの見やすさに設定することで、作業に集中できる環境を整えられます。

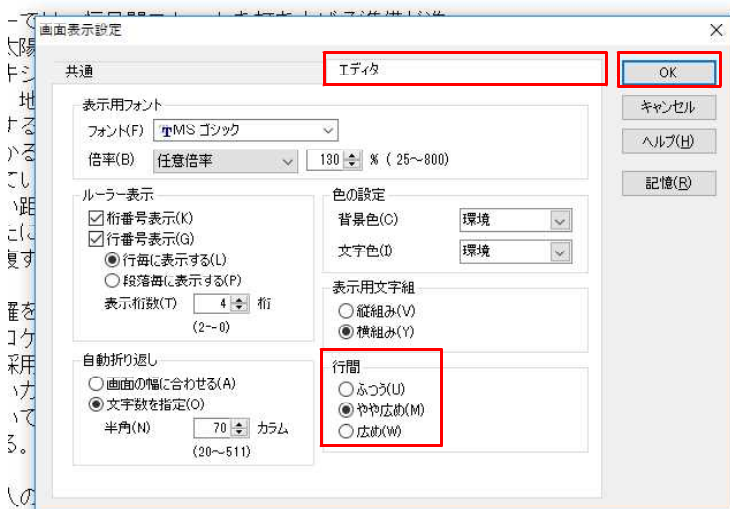
1. [表示－作業フェーズ－エディタ] を選択して、エディタフェーズに切り替えます。画面左上のコマンドバーから [作業フェーズの変更] ボタンをクリックし、[エディタ] を選択しても切り替えられます。



2. [表示－画面表示設定] を選択します。



3. [画面表示設定] ダイアログボックスが開くので、[エディタ] タブに切り替えます。  
 [行間] で [やや広め] や [広め] を選択して [OK] をクリックします。エディタフェ  
 ーズでいつも同じ設定を利用したいときは [記憶] をクリックして設定を保存します。



4. 左から、[ふつう] [やや広め] [広め] の行間を設定しています。行間の広さによっ  
 て見え方が変わります。好みの行間を設定しましょう。

